

会議録

会議の名称	西東京市公民館運営審議会第8回定例会
開催日時	平成16年12月22日（水曜日） 18時32分から20時33分まで
開催場所	田無公民館 第2学習室
出席者	会長：下栗庸隆 副会長：西谷征一 委員：細井邦夫、濱崎昌子、水野教雄、内山由之、武田雅子、関谷大博、米村博子、米澤千鶴、富澤佳代子、野崎佳宏、竹内敏子、 職員：島崎館長、近藤事業係長、小倉分館長、長谷部分館長、玉木分館長、古瀧分館長、上野分館長、藤森公民館主事、村上公民館主事
欠席者	委員：木村俊二、北岡和彦、遠山久敬、仲川準
議題	(1) 第7回会議録について (2) 報告事項 1. 事業計画・報告書について 2. 新しい公民館・図書館のあり方策定委員報告 3. 公民館だより編集委員報告 (3) 協議事項 1. 講師派遣事業のあり方について (4) 次回の日程について
会議資料の名称	事業計画書8件、同報告書10件
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input checked="" type="checkbox"/> 会議内容の要点記録
会議内容	
<p>(1) 公民館運営審議会第7回会議録について ※訂正箇所等特になし</p> <p>(2) 報告事項 1. 事業計画書・報告書について</p> <p>○職員： 前回のひばり公の子ども手話教室の未回答部分について報告する。保護者からテキスト代徴収について、苦情を含めて特に意見は上がらなかった。テキストの値段は、918円であった。</p> <p>○職員： 田無公、住吉公の計画書2件について、本日配布になったことについてお詫びした</p>	

い。

○委員：

住吉公の「君はカメラマン」は無料で、「木工教室」は有料だが、木工のみ材料代がかかるということか。

○職員：

「君はカメラマン」は、デジタルカメラを含めて、講師が機材を持ち込むために無料であるが、「木工教室」は、材料を購入する必要が生じた。

○委員：

本日提出の企画書を含めて、これまでも講師の欄に小野紀之氏の名前が多い。環境コーディネーターという特殊性からこうなるのもやむを得ないが、公民館だよりの編集室でも同様の意見が出ていたことを報告する。

○委員：

琵琶を聞く集いの講師料の8万円の根拠を示してほしい。安いものなのか、高いものなのかよくわからない。

○委員：

演奏家のレベルにもよるが、8万円であれば安いのではないかと考える。

報告書を見ていると、最初から人数の少ないものと徐々減っていくものがあるようだ。田無公の二胡の講座も最後は随分と少なくなっているが、記載のとおりサークル化が実現できればよいと思う。

○委員：

保谷公の編み物教室の報告がある。確か別の館でも編み物教室の報告があり、やはり定員を大きく割り込んでいたようである。参加者のニーズに沿っているのかどうかを見極めて、もっと別の手芸等に取り組んではどうか。

ダーツの講座に青年層が集まったことに注目したい。自主サークル化したということであれば、今後も定期的に報告してほしい。

○委員：

演奏家への支払いについてであるが、高い講師料を支払えばよい演奏家を招けるのは当然のことである。公民館が行う事業なのだから、演奏家に対しての支払い基準などがあって決めているのか。

○職員：

基準はない。予算獲得時に、視聴覚教育の予算ということで包括的に要求している。その後演奏家との交渉で値段は決めている。今後の公民館事業のあり方を考えると、コンサートの質の面での向上ばかりを追うのではなく、例えば、音楽系の利用サークルに協力を仰いで、参加型の視聴覚教育を展開することをもっと積極的に取り組まなければならないと思っている。

2. 新しい公民館・図書館のあり方策定委員報告

○委員：

12月3日に第2回目の委員会があった。図書館について研究協議を加えた。ここしばらくは図書館について議論をする予定だが、第6回目7回目には公民館について予定されている。12月27日には、市内の図書館・公民館を視察する予定でいる。1月末には、埼玉県の鶴ヶ島市へ図書館の視察をすることになっている。

この委員会の議論は、年度内で集約することになっており、残り回数を考えると公運審との意見交換の場も微妙であるが、回数外にでもと個人的には考えている。

意見があれば、反映したいので申し出てほしい。

3. 公民館だより編集委員報告

○委員：

12月7日に編集会議を行った。まず12月号の反省として、朗読ボランティアの方から、写真の説明がほしいという声が上がった。

1月号の1面は、太鼓の会「若鷹」を取材した。1月号から、定員等の人数表記を「名」から「人」にした。2月号の1面は、11月に行われた委員部会の講演会のダイジェスト記事を掲載することにした。3月号は、はなバス第5ルートの記事を取材することにした。

(3) 協議事項

1. 講師派遣事業のあり方について

○会長：

議論に入る前に、資料について館長から説明を求める。

○館長：

前回の会議で、3グループに分かれることが決定している。

当初の目的は、ここでの討議を基にして、講師派遣事業のみならず、公民館のあり方を見直してほしいということをお願いした。結果としてさまざまな意見が出てしまい論点が絞れなくなってしまったために、資料をとおして方向性や内容を絞ればと考える。今後の議論の共通の土台となるべき考え方を確認してもらうために資料を示したい。

趣旨にもあるとおりで、公民館という公の機関が行う事業であり、そのあり方が現在問われている。これまでのこの事業のあり方が、その成り立ちとの関係で補助金的性格が大変強くなっている。団体に対しての補助金の支出は、機関でなく行政が行うものであり、公民館は補助金を支出する対象にない。

公民館の主催事業としての職員のかかわり方や資料にも書いた現在の事業の趣旨である3つの柱の捉え方によっては、事業の方向性も変わってくる。本日以降のグループ討議も、3つのグループが、まずは事業の基本を見極めてから具体的な部分に議論を進めてほしい。

○会長：

この資料を基にして、グループ討議をしてほしい。

○委員：

公民館が費用を負担するとあるが、市民の提案に対して公民館が講師を決めて派遣するのか、グループの選んだ人に金を払うということなのか。また日常活動から独立すると言う意味がよく理解できないでいる。

○職員：

グループの選んだ人材に講師料を支払っている。日常活動からの独立とは、通常そのグループが会員のために行っている活動を離れて、市民に学習の機会を提供するという意味である。

○委員：

公民館として、この事業の廃止や予算の縮減を考えているのか。

○館長：

そのような考えはない。より発展性のもてる活動にしていきたい。

○副会長：

前回委任されているので、私なりに3グループを提案したい。メンバー表を配布するので分かれてほしい。

○委員：

分科会に別れる前に、年間3回利用が可能というルールだが、利用サークルの一覧を提出してほしい。

○職員：

そのあたりも含めて、グループ討議の中で明らかにしていってはどうかと思う。

○会長：

暫時休憩して、グループ討議を行いたい。各部屋に分かれて8時10分過ぎには再集合してほしい。

(19時30分休憩)

(20時18分再開)

○会長：

進捗状況を確認するために各グループの審議具合を報告してほしい。

○委員：

Aグループ。職員から現状の説明を受けた。3つの柱のうち、どの役割を強く持つことがふさわしいのかについては、結論に至らなかったが、この事業には自主グループでなければ申請できないことになっているが、2.についていえば、提案がグループに限らなくてもいいのではないかという意見も上がった。3.は、大切や役割であり、誕生まもな

いグループにとっては意義深い部分であると考えている。

現状の制度は、グループでないと申請できないが、もっと広く市民の提案を受けられるための道を求める方法についても考えてはどうかという意見が上がった。

○委員：

Bグループ。グループの中に、実際に申請をした人もおり、活発に意見交換が行われた。

ベテランの会は、申請をしなくても自分の力でやっていける部分もあると思う。1.の自己のグループのための活動なのであれば、年間3回の許可は多すぎると思う。職員からの説明も受けたが、手慣れた団体の申請も多くあり、リピーターの捕らえ方を検討したい。

また、この事業を使って、若い人々を公民館に迎え入れるような提案がされれば有効だ。いずれにしても、限られた予算を有効に使う手段を講じないと、豊かな時代に考えられた制度は曲がり角を迎えている。

現在のようにグループからの提案を受けられるばかりでなく、館側が主催事業の提案をして、その提案に市民が応募するような仕組みも考えられるのではないかという意見も披露された。

○委員：

Cグループ。公民館が考えている趣旨と、市民の捉え方が違っている。2.の趣旨を活用して、公民館に多くの人に来てくれるきっかけにできればいいと思う。

公民館が貸し館にならないためにも、その状況を理解してもらおう努力をする必要がある。

グループ討議の中で、直接講師派遣事業を行ったサークルからインタビューをしてみようかという意見が上がった。これから次回までの間に行われる事業に参加してみるのも方法である。また、16年度のこれまでのグループの意見をまとめた報告書を資料として提出してほしいという意見も出た。

○館長：

3グループの意見を集約すれば、現状に対する疑問点が上げられていたのではないかと思う。そのあたりを具体化してもらえば解決策が出るのではないか。

○委員：

ネーミングの問題などについても、グループの中ではあがっていた。

○会長：

引き続き、次回もグループ討議を続行する。今回の結論が出ていないグループもあるので、引き続いて目的について絞って討論してほしい。

(4) 次回の日程について

1月26日（水曜日）18時30分

田無公民館に於いて

